

女性の就労・スキルアップ促進プロジェクト【神戸市】

総事業費	6,447 千円
交付金額	3,084 千円

地域の実情と課題

女性の就業率(令和2年国勢調査)については、政令市の中で下から3番目と低い実情がある。
課題として、仕事と子育ての両立や働きやすい職場環境づくりがあり、女性が多様な働き方を実施するためのスキルを向上させるソフト面の取り組みやハード整備が不足していた。

事業の特徴

- 女性の多様な働き方を支援するため、子どもと一緒に利用できる託児付きサテライトオフィスを開設し、就職活動向けに、パソコンの無料貸出サービスも実施。
- 女性の就労・再就職につながる各種セミナーやキャリアカウンセリングを実施し、女性の就労を支援

事業の効果

- 託児付きサテライトオフィスの利用者は令和4年度で延べ2,958名、託児利用者(子の人数)延べ830名と、利用者が着実に増加している。
- フリーランスの仕事や育休からの復職準備、スキルアップ、就職活動の場として活用されており、育休中に託児を利用しながら国家資格を取得した事例や、貸出用パソコンを利用して再就職できた事例などがあつた。

目的・目標

託児付きサテライトオフィスの運営(目標利用者数260名/月、働く女性のスキルアップセミナーや女性管理職向け研修等の各種セミナーの実施を通じて、女性の多様な働き方やさらなる女性活躍を促進し、女性が活躍できるまちの実現を目指す。

連携団体

神戸商工会議所や経済団体、兵庫県経営者協会、兵庫県、マザーズハローワーク

今後の課題

サテライトオフィスの利用者増に向けた広報・周知を進めるとともに、利用者のニーズを把握し、さらに女性の就労・再就職支援を後押しできるように展開していく必要がある。

①託児付きサテライトオフィスの設置

男女共同参画センター1階に、託児つきサテライトオフィス（利用料無料）を開設し、育休復帰に向けた準備や、スキルアップ、リモートワーク、再就職に向けた勉強や準備ができる場として利用してもらうほか、女性同士の情報交換・交流の場を創出した。



②コミュニティマネジャーの配置（週3日5時間程度）

サテライトオフィス内に、コミュニティマネージャーを配置し、女性の就労・再就職、スキルアップに向けた情報交換、助言を行うほか、利用者同士のコミュニティを形成し、女性の就労促進を支援するなど、サテライトオフィスの活性化に取り組んだ。



③企業の枠を超えたネットワーク作り支援

女性管理職向け研修の受講生や兵庫県経営者協会の会員などを対象とした交流会と女性ロールモデル講演会を実施。役職や企業の枠を超えた交流を通じて、市内の働く女性のネットワーク作りを支援した。（交流会42名参加）